



劇団四季ファミリーミュージカル 楽しい物語と迫力の舞台



3月20日、世界の名作で、愛あふれる演劇、劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロッテ」が町文化ホールで公演されました。ふたごの姉妹、ロッテとルイーゼを巡る不思議なめぐり合いから始まる冒険物語です。

約600人の観客は出演者の素晴らしい演技と本格的な舞台に魅了されました。

出水市から訪れた小学校5年生の荒木春花さんは「楽しい物語と迫力の舞台だった。ハッピーエンドで良かった」と話しました。

キビルフェス2025 Vol.9 来年も今まで以上に楽しく



3月16日、長島と熊本県牛深をキビル(結び)「キビルフェス」が開催されました。

これは、本町と対岸の天草市のPRを目的に開催され、両会場には、70の飲食店などが軒を連ね、会場間を結ぶフェリーの運賃は、特別価格の往復540円。会場は多くの親子連れなどでにぎわい、ダンスや音楽などの各種イベントを楽しみました。

実行委員の二階堂美紀さん(蔵之元)は「2つの会場でたくさんの方に来場者に楽しんでいただけてうれしい。来年は10回目なので、今まで以上に楽しいイベントにしたい」と話しました。

町内小中学校で卒業式

大切な身体と心を大切に



3月12日に町内の中学校で、24日は小学校で卒業式があり、町内の中学生91人と小学生89人が親しんだ学び舎を巣立ちました。

城川内小学校(下野由美子校長・70人)では、13人が卒業。下野校長は一人ひとりに卒業証書を手渡し「親からもらった大切な身体と心を、自分自身や友だちのために大切に使うしてほしい。中学校での活躍を祈念している」と激励しました。

卒業生別れの言葉では、保護者からの温かい拍手が贈られ、在校生からの贈る言葉に涙を拭う卒業生の姿が見られました。

道の駅指定管理者が決定

さらに発展した観光の拠点施設を



3月25日、長島町特産品直売施設ポテトハウス望陽、長島物産館、長島物産館及び長島町農山漁村体験施設の管理に関する協定調印式が役場でありました。これまで指定管理を行ってきた(株)長島物産館(梶修代表取締役社長)が今後5年間、3つの施設の運営を行います。

梶社長は「身の引き締まる思いで、問題点に向き合い、行政の力を借りて関係者との風通しの良い関係を築き、観光拠点としてさらに発展できるように頑張りたい」と意気込みを話しました。